令和８年度秋号

赤十字いしかわ





熊本へ 能登へ

想いの力を、救う力に。



日本赤十字社は2027年5月に創立150周年を迎えます



令和8年熊本地震における赤十字の活動

医療救護・救援物資の配布

令和8年7月28日に熊本県で最大震度7を記録する地震が発生し、各地で大きな被害が広がる中、赤十字はすぐに救護活動を開始しました。

職員・ボランティアの派遣

救護班（DMATを含む）
延べ 166 班

日赤災害医療コーディネートチーム
延べ 66 チーム

こころのケア班（調整班含む）
延べ 40 班

支部支援要員 等
延べ 81 人

救援物資の配布

毛布・タオルケット
670 枚

安眠セット
2,244 セット

その他 パーテーションなど

その他、赤十字奉仕団等の赤十字ボランティアが、被災地をはじめ全国で活動中　9.15 現在









被災地における保健・医療ニーズのアセスメントや巡回診療、災害関連死防止策を講じました。また、必要に応じて避難所の環境改善（段ボールベッドの展開等）のための取り組みも行いました。石川県支部は金沢赤十字病院の医師・看護師を中心とする災害医療コーディネートチームや、救護班、熊本県支部支援要員及びこころのケア調整要員を熊本県に派遣し、活動にあたりました。救護活動の経過は、石川県支部ウェブサイトや公式SNSをご覧ください。

子どもの咳が突然止まらなくなったのですが、近所のクリニックが診療を行っていなかったので避難所の救護所へ受診に来きました。こうした状況でなくとも、子どもはすぐに体調を崩すので、救護所がある環境はありがたいです。全国各地から救護班が来てくださっていると知り、駆け付けてもらっていることに本当に感謝しています。

8月3日（月）　宇城市小川防災拠点センター
・救護所に受診しに来た家族（父・母・子／受診は子）
・診察（広島県支部救護班＜原爆病院＞山本梨花医師）



令和６年能登半島地震における
赤十字の活動


新緑の中、ノルディックウォークを楽しみました


ご当地ハートラちゃんのかるたで大盛り上がり！


熱中症対策で甘酒スムージーを試飲



奥能登で講習を再開

赤十字では令和６年能登半島地震で被災した方々に対し、赤十字ボランティアとともに継続して支援活動を実施しています。

５月に輪島市内の仮設住宅にお住まいの方を対象にノルディックウォークを行いました。ポールを使ったストレッチから始まり、実際にノルディックウォークを体験。新緑まぶしい公園内を散策し、昔話に花を咲かせるなど、笑顔が絶えない時間となりました。7月には同じく輪島市内の仮設住宅の集会所で熱中症対策に関する健康サロンを開催。甘酒を使ったスムージーを調理して試飲したほか、ご当地ハートラちゃんのかるたでは赤十字ボランティアとともに「これはどこの都道府県のハートラちゃんやろう？」と想像しながら住民同士の交流を深めました。

同月から珠洲市の小中学校で講習会を開催。講習に使用する心肺蘇生トレーニングキットを配備しており、復興に向けて歩みを進めています。

令和８年８月２７日からの大雨災害に対する石川県支部の対応

救援物資の配布

発災当日から石川県災害対策本部会議へのオンライン参加や避難者数が多い市町と連絡を取り、要請のあった救援物資をすぐにお届けしました。

毛布・タオルケット
250 枚



安眠セット
180 セット





災害義援金について

日本赤十字社では災害義援金を受け付け、全額を被災県が設置する配分委員会へ送金します。各災害義援金の詳細につきましては、石川県支部ウェブサイトよりご確認ください。

赤十字講習

100周年記念 キャラバン

AEDトレーナーや
心肺蘇生訓練人形などを
セットにした
「キャラバンセット」が
全国を巡回中！

2026 9.13 SUN

石川県ではイオンモール白山にて開催されました！



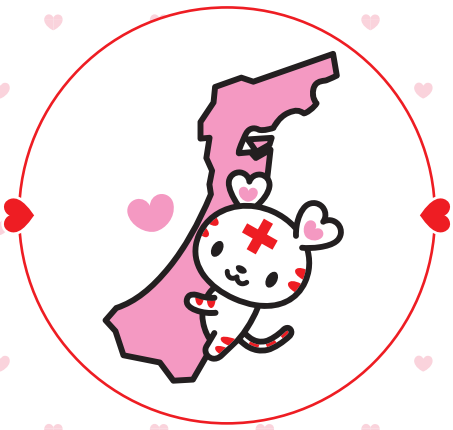
9月13日に「赤十字講習100周年キャラバン」を開催し、AED体験や心肺蘇生ゲーム、ハートラちゃんとの写真撮影を楽しんでいただきました。「赤十字講習100周年キャラバン」は、節目を皆様に伝えるとともに、講習を広く知っていただくことを目的に、全国を巡回しています。

当日は350名を超える方々が会場にお越しになり、「いのちを救う技術を学ぶ貴重な機会になった」との声をいただきました。

石川県支部では、救急法をはじめとする5種類の講習会を実施しています。身近な人を救うため、一次救命処置や日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術を習得できる場となっておりますので、ご興味のある方は右の二次元コードをご覧ください。

URL▶https://www.jrc.or.jp/chapter/ishikawa/study/

日本赤十字社公式キャラクターのご紹介



47都道府県ご当地ハートラちゃんは
こちらから

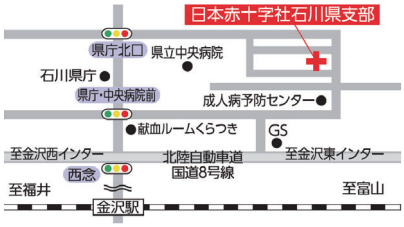
全国ご当地ハートラちゃん

石川県ぎゅっとハートラちゃん

「苦しんでいる人を救いたい」そんな熱くやさしい心でボランティアとして
がんばっている、日本赤十字社の公式キャラクター「ハートラちゃん」。
現在全国47都道府県では、ご当地ハートラちゃんたちが活躍中♪
石川県ぎゅっとハートラちゃんは、石川県のご当地ハートラちゃんです。
石川県をぎゅーっとあたたかく包み込むように支え、寄り添っています♥

日本赤十字社 石川県支部
Japanese Red Cross Society

〒920-8201　金沢市鞍月東2丁目48番地　石川県医師会・日赤共同ビル1階
TEL：076-239-3880　FAX：076-239-3881
ウェブサイト　https://www.jrc.or.jp/chapter/ishikawa

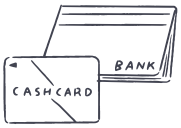


赤十字の活動を推進するためには、皆さまのご支援が必要です。
赤十字活動資金にご協力をお願いします。



ご寄付の方法

郵便局・銀行の口座振替で



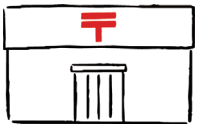
QRコードより申込書をダウンロードして必要事項をご記載のうえご郵送ください。

クレジットカード・Amazon Pay・PayPayで



QRコードからの登録により、クレジットカードやAmazon Pay、PayPayでご寄付いただけます。

お近くの郵便局で



下記の払込票を切り取って寄付金額、住所・氏名等をご記載のうえ郵便局の窓口にてご寄付いただけます。
※北國銀行でもご寄付いただけます。

あなたのご支援でできることの一例

毎月



3,000円 のご寄付を1年間継続で
避難所で使う毛布を
12人分備える

避難所での生活に不可欠な「毛布」を12人分備えることができます。

毎月



4,000円 のご寄付を1年間継続で
安眠セットを
12人分備える

避難先での生活を少しでも快適に過ごしていただけるよう、キャンピングマット、枕、アイマスクなどが一式収納された「安眠セット」を12人分備えることができます。

毎月



5,000円 のご寄付を1年間継続で
緊急セットを
50人分備える

避難先での生活にあると便利なマスク、ウェットティッシュ、ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが一式収納された「緊急セット」を50人分備えることができます。

毎月



10,000円 のご寄付を1年間継続で
心肺蘇生トレーニングキットで
60人分講習を行える

簡易的に心肺蘇生を体験することができるトレーニングキットを整備することで、大人数での講習を実施することができます。

表彰制度

赤十字活動資金のご協力に対して、
次のとおり表彰制度を設けています。

2万円
特別社員



20万円
銀色有功章



50万円
金色有功章



▲法人



▲個人



金色有功章受章後
50万円ごと
社長感謝状



日本赤十字社の表彰	条　件	表彰品	個人のみ選択
特別社員 （個人のみ）	累計額が2万円以上	個人：称号付与通知書	支部表彰品（こちらから1つ選択） 門標 オリジナル ピンバッチ クロス防災グッズ 8点セット 巾着（左記写真）、タオル、携帯トイレ、スリッパ、マスク、レインポンチョ、ブランケット、ホイッスル
銀色有功章 （個人・法人）	累計額が20万円以上	個人：有功章（楯型） 法人：有功章（楯型）	
金色有功章 （個人・法人）	累計額が50万円以上	個人：有功章（勲章型）、章記 法人：有功章（楯型）	
社長感謝状 （個人・法人）	金色有功章受章後、 累計額が50万円以上	個人：感謝状 法人：感謝状	―

国の表彰	条　件	表彰品	備　考
厚生労働大臣感謝状 （個人・法人）	個人：100万円以上 法人：300万円以上	個人：感謝状 法人：感謝状	・同一年度内での寄付累計額が条件を満たす必要があります。 ・同一寄付で紺綬褒章と同時申請はできません。
紺綬褒章 （個人・法人）	個人：500万円以上 法人：1,000万円以上	個人：褒状、褒章 法人：褒状	・分納の場合、初回寄付の際に分納のご意思をお伝えください。 ・同一寄付で厚生労働大臣感謝状と同時申請はできません。

令和7年度決算

令和7年度決算は、石川県支部ホームページにて公開しております。
詳しくは左の二次元コードよりアクセスしてください。

